

出発前の その一声が 事故防ぐ！

最近の事故の態様を見ますと、

信号停止中、ブレーキが緩み追突・逆突

走行中、進路が逸れてガードレールに衝突・対向車線にはみ出し対向車に衝突

構内駐車時、サイドブレーキをかけ忘れ、無人で車が自走し建物に衝突

など、まさにドライバーの緊張感が欠けていたのではないかとと思われる事故が多発しています。

運行管理に当たる皆さんが、ドライバーに緊張感を高め、持続させるための“一声”を積極的に掛けていただき、全員が無事故で帰社できるよう配慮をお願いします。

<声掛け時の留意事項>

声掛けは、全体と個人を区別して行いましょう。

～ドライバーの個性等に応じた声掛けも大切です。

心身の健康状態の確認を

～寝不足、疲労、病気、悩み事等はないか注意しましょう。

運行上の指示は、具体的に

～単に「注意して安全運転を…」ではなく、運行ルート等を勘案し、「交差点は××が多いので、特に 〇〇に注意し、の安全確認を確実に…」等と具体的にいきましょう。

休憩は、早めに確実に

～事故を起こしては目的地に着きません。眠気や疲労を感じたら早めに、短時間でも休憩をとるよう指導しましょう。